

# 平成 25 年 新年賀詞交歓会

## 木津会頭 年頭の挨拶（抜粋）

### （1）新たな政権の発足

- ・平成 24 年 12 月の衆議院総選挙は自民党の大勝利となり、安倍新内閣が発足しました。
- ・安倍新首相がインフレターゲットを高め置いての「金融緩和」、ならびに「積極的な財政出動」「産業新分野」への積極的テコ入れを表明され、為替相場・株式市場が敏感に反応、円安・株高の方向へ動いており、今後の新政権への期待がふくらんでおります。

### （2）長いスパンで見た日本の状況

- ・このままでは少子化による人口の急速な減少が進み、国力が大きく損なわれることになりましょう。

将来の日本の人口予想	
現在	12700 万人強
2030 年	11600 万人強
2050 年	9000 万人

- ・世界全体の経済のグローバル競争がますます激しくなるでしょう。
- ・この 20 年間日本は、経済成長に向けてはかばかしい手を打っておらず、海外から見れば日本は自殺しようとしているように見えていると言われております。

### （3）自民党新政権へ望むこと

次の諸課題に的確に対応し、経済を立て直し、先行き希望の持てる日本にしていきたい。

- ①少子化・人口減少を食い止めること
- ②為替相場の適正化
- ③デフレ脱却
- ④家庭・産業各分野における省電力化の推進と自然再生エネルギー発電の普及拡大等による脱原発化、電力産業の大イノベーションの推進
- ⑤新産業ジャンルの育成ならびに従来ジャンルのレベルアップ推進
- ⑥GDP の安定的成長、国民 1 人当たり所得の向上と内需の拡大
- ⑦若者就職率の向上、働く女性の支援体制の確立
- ⑧福祉の充実
- ⑨教育の革新
- ⑩戦後 70 年の日本を支え続けた平和外交の維持と外交力の強化
- ⑪観光の振興
- ⑫国家財政の見直し

#### (4) 新市長に望むこと

##### ① 観光振興について

平成 24 年 11 月に、岡本栄 新市長が誕生され「医療の再生」「ムダのない財政」「観光・農林などの再生」などを掲げられ、中でも「観光振興」については当商工会議所も最重要課題として最大の関心を持っています。行政当局・観光協会・伊賀市商工会・上野商工会議所等がトップも含めて緊密に連携して策を練り実行して行く。その先頭に立っていただきたい。

##### ② 新芭蕉記念館建設について

斬新で老若男女、あらゆる層の人々に親しまれ、年間 20～30 万人誘致できる新記念館をまちなかにつくり、伊賀に残る歴史文化施設の結節点、伊賀文化センターとして幅広く機能し、伊賀の観光振興・活性化にも資する新芭蕉記念館を建設願いたい。

##### ③ 市長との定例ミーティングを実施し、諸々の情報提供や提案、ディスカッションをさせていただきたいと考えております。

官民手をたずさえて、地域の振興に努めさせていただきます。

#### (5) 中心市街地の活性について

ハイトピア伊賀が、平成 24 年 4 月に完成しました。本年は、駅前広場が完成する予定です。商工会議所はコミュニティ情報プラザ等を活用し、元気な町づくりに取り組んでいます。

今後さらに古い空き店舗の活用、観光客の町中誘導等、中心市街地商店街の活性化に努めて参ります。

#### (6) その他、農商工連携事業の立ち上げや、企業誘致の新機軸の推進等も進めたいと考えております。